



2016年を迎えて

大分大学医学部附属病院

病院長 津村 弘

新年明けましておめでとうございます。病院においでになっている皆様は、ご自身やご家族になんらかの不調を抱えておられることと思います。そのため、正月の挨拶は、不躰に感じられる向きもあろうかと思いますが、明るい新年は全ての人の願いですので、ご容赦いただきたいと思います。

昨年末に、改装中であつた東病棟が完成し、西病棟から移転いたしました。すでに、内視鏡部や外来化学療法室の移転も終了し、いよいよ本年からは外来診察室と西病棟の改装が始まります。特に外来診察室は、少しずつ移動しながら改装するため、来院されるたびに様子が変わることがあるかもしれません。新しい外来診察室は、プライバシーを重視した個室となっており、安心して診察を受けることができるようになります。全ての再整備が完了するまで、あと2年かかる予定です。また、電子カルテシステムも、本年1月より新しくなりました。新しいシステムに慣れるまでの間、待ち時間が、多少とも延長する可能性があります。お許しください。

超高齢社会を迎えて、医療・福祉関連費用の急激な増加が話題となっていますが、本来、長寿であることはおめでたいことであり、だれしもが望むところのものであるはず。長寿を享受するには、運動習慣や適切な検診により、健康寿命（自立した生活が可能な期間）をできるだけ伸ばすことが重要です。私たちの医療のゴールも、「単に病気を治す」から、「健康な生活を再獲得する」に転換する必要があると思っています。幸い、大分大学には本年より地域包括ケアに資する人材を育成するための、新学部（福祉健康科学部）が誕生いたします。卒業生の輩出は4年後ですが、本院も新学部と連携することで、さらに地域に貢献できるのではないかと期待しています。

職員一同、より一層の安全・安心・先進の医療を提供するよう努力したいと、年頭に決意を新たにしています。本年もよろしく願いいたします。



シリーズ

病院再整備 ①

平成26年7月からスタートした東病棟改修工事では、工事の騒音・振動などで患者さん、ご来院の方々には大変ご迷惑をおかけしましたが、おかげ様で昨年11月から運用を開始しました。

東病棟は、患者さんニーズへの対応と教育病院としての機能を充実させています。患者さんの入院生活が快適になるよう個室の病室を多く持ち、病室ごとのトイレ、患者さんへの説明等を行う面談室などを整備し、従来にも増して様々な工夫が施されています。

今後の病院の再整備は、引越しを終えた西病棟の改修工事及び中央診療棟の改修工事並びに外来棟の改修工事と随時平成29年3月まで行われます。

引き続き皆様のご協力とご理解の程よろしく申し上げます。



小児科病棟(プレイルーム)



小児科病棟(廊下)



浴室



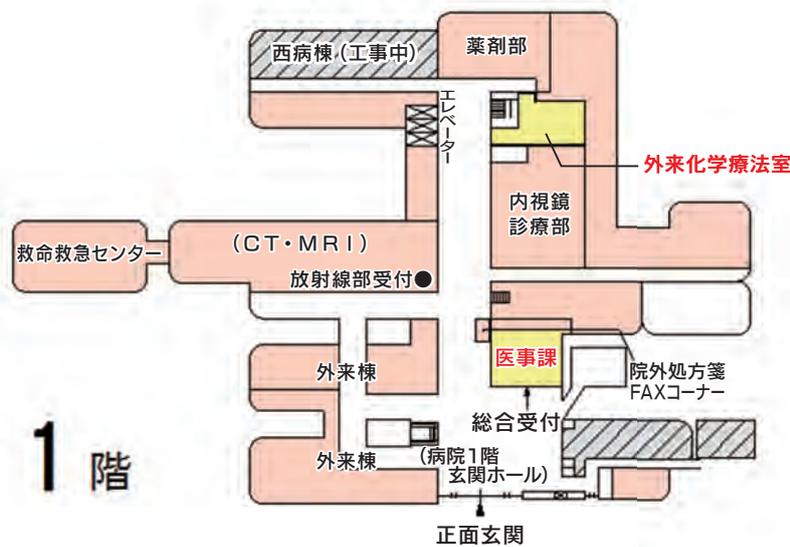
トイレ

シリーズ 病院再整備 ②

【外来化学療法室、医事課、外来診療科の移転】

病院再整備に伴い次のとおり場所が移転しましたのでお知らせします。

- 外来化学療法室 平成27年11月28日から1階エレベータ近くに移転しました。
- 医事課 平成28年1月4日から旧薬剤部跡地に移転します。
なお、栄養相談室は1月中旬に移転予定です。



●外来診療科の移転

平成28年1月4日から外来棟増築部分に各診療科が移転します。移転後の各診療科の配置は、下記のとおりです。

【外来棟増築部分移転後の配置】

外来棟増築部分		外 来 棟	
5階	緩和ケアセンター		
4階	歯科口腔外科		
3階	麻酔科		
2階	精神科 形成外科 皮膚科	2階	小児科 腎臓外科・泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 臨床薬理センター
1階	整形外科 産科婦人科	1階	内科 外科 脳神経外科 放射線科

最新の診断と治療**3次元立体モデルを用いた****顎骨疾患の治療**

最近、話題になっている3Dプリンター。通常のプリンターが紙に平面的な図や文字を印刷するのに対して、3DプリンターはCTなどの3次元データをもとに立体模型を造形する機器です。この機器が医療でも利用されるようになっていきます。

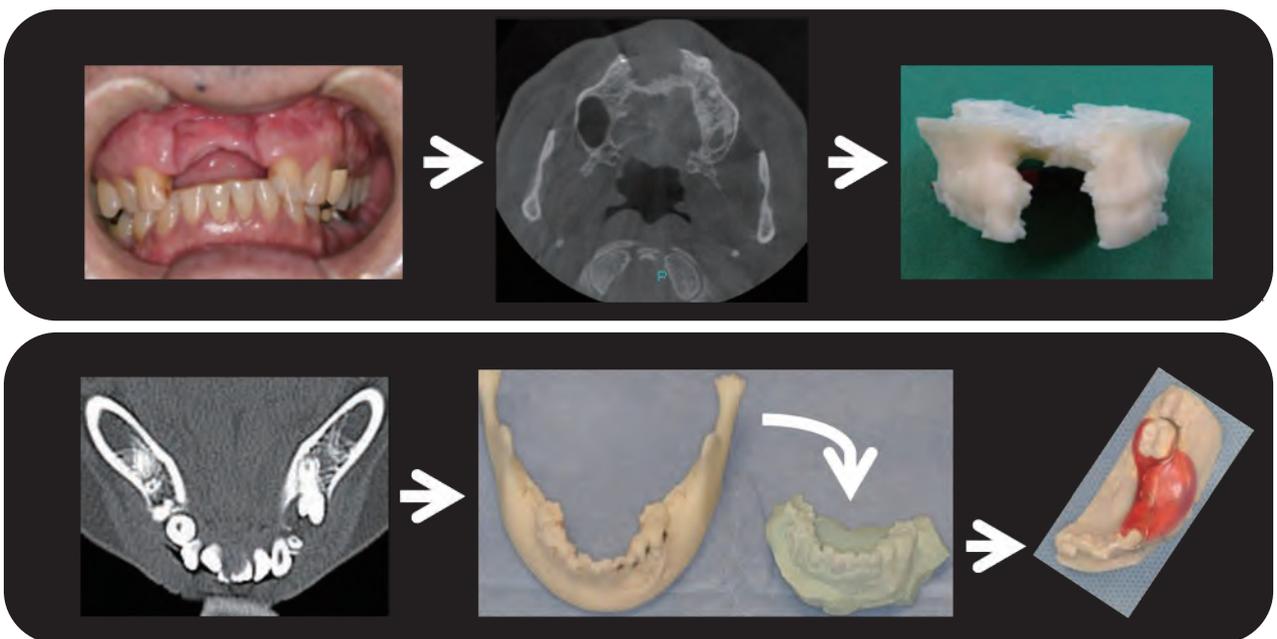
顎骨（上あごと下あごの骨）の病気の治療、とくに腫瘍切除後の再建治療では、以前は病院外の会社に依頼して3次元モデルを作り、術前シミュレーションを行っていました。しかし作製費が高額であり、患者さんの負担を考えると利用しにくい状況でした。現在では本院の整形外科に3Dプリンターが設置され、3次元モデルの作製が容易になり利用する機会が増えました。

写真は当科で3次元モデルを使った治療の症例です。上の症例は上顎の歯槽骨（歯ぐきの部分の骨）が一部欠損した患者さんです。CTデータからプラスチック製の3次元モデルを作り、骨欠損の大きさと形、移植に必要な骨の量を術前に調べました。

下の症例は小児の患者さんで、顎骨病変の摘出後に創を保護するためのプレートを3次元モデルから作製した例です。普通は口腔内で直接、型取りをして石膏模型を作ってからプレートを作製するのですが、この患者さんは歯科治療を怖がったため3次元モデルを作り、それをもとに保護プレートを完成しました。

今回、紹介したのはいずれも病変部分を口の外で再現して手術の準備を行った例ですが、それ以外にも様々な利用方法があります。例えば、生体に移植できる材料で組織欠損部に合う形を作り、そのまま移植することも可能になっています。3Dプリンターの医療への利用は、今後益々広がっていきます。

（文責 歯科口腔外科 河野 憲司）

**3次元モデルを使って治療を進めた顎骨病変の例**

上：上顎歯槽骨の欠損患者。欠損の形と大きさを3次元モデル状で術前に評価。

下：治療を怖がった患児。3次元モデルから保護プレートの作製。

紹介状・画像ディスクの取り扱いについて 平成28年1月4日(月) から

病院情報システムの更新に伴い平成28年1月4日(月) から、他院からの紹介状・画像ディスクの診察前「取り込み」、紹介先への画像ディスク「引渡し」を医事課窓口で開始いたします。

これまでは、医師が診察中にその場で、患者さんから紹介状や画像ディスクを受け取っていました。これからは、患者さんが医事課で受付をされる時に、持参された紹介状や画像ディスクを医事課窓口へ提出していただきます。医事課窓口で、直ちにこれらを電子カルテに取り込みますので、診察がよりスムーズになることが期待されます。

また、本院から他院へ紹介となり、本院の画像ディスクが必要な場合、診察室で医師から受け取った画像ディスク引換券を会計する時に医事課窓口へ提出していただきます。引き換えに画像ディスクをお渡しします。ご協力をよろしくお願いいたします。

(文責 医事課 森永 英隆)

院外処方せんへの検査値表示について

平成28年1月4日(月) から、本院で発行するすべての院外処方せんに患者さんの検査値(血液検査)の一部を表示致します。保険薬局において患者さんの検査値が参照されることで、用量や相互作用だけでなく、検査値に基づき患者さんの状態を把握した上で処方を監査することが可能となります。また、肝機能、腎機能に応じた用量の適正化や副作用の早期発見など、保険薬局薬剤師にもその役割を十分に発揮してもらい、薬物療法の安全性、有効性の向上に寄与できるものと考えます。

病院、地域の薬局が協力して、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、これからも取り組んでまいりますのでご協力をお願い致します。

(文責 薬剤部 佐藤 雄己)

大分大学医学部附属病院の理念等について

【理 念】

本院は、「患者本位の最良の医療」を基本理念とする。さらに、高度先進医療の開発と提供をとおして、倫理観豊かな医療人を育成し、地域社会の福祉に貢献する。

【基本方針】

本院は、

- 患者本位の医療を実践する。
- 医療の質及び医療の安全性の向上に努める。
- 医学、医療の発展と地域医療の向上に寄与する。
- 教育、研究、研修の充実を図る。
- 病院の管理・運営の合理化を推進する。

【患者さんの権利】

- 個人の尊厳が尊重され、良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気、検査、治療などについて、十分な説明を受け、理解した後、治療方法などを自らの意思で同意又は拒否を選択することができます。
- 自分の診療記録について、本院の規則に則って情報の提供を求めることができます。
- 診療における個人情報を守られ、プライバシーが最大限尊重されます。
- 教育実習及び研究の協力者となることを断ることができます。
- 医療行為の選択にあたっては、他の医療機関を選択することができます。
- 診断や治療方法について、他の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
- 身体の不自由な方、外国人の方にも、できる限りの支援をいたします。

【患者さんにまもっていただくこと】

1. 良質な医療を実現するため、医療従事者に対し、患者さん自身の健康の情報を詳しく正確に伝えてください。
2. 納得できる医療を受けるために、検査や治療の内容を十分理解し、不明な点については十分質問し、合意の上でお受けください。
3. 病院内・敷地内での喫煙は、禁止しています。
4. 飲酒や他の方々への迷惑行為は、禁止しています。
5. 病院内での許可のない録音・録画・写真撮影は、遠慮ください。
6. 携帯電話の使用制限をしている場所での使用は、遠慮ください。
7. 病院内の設備や備品は、大切にご使用くださるようお願いいたします。破損、紛失などの場合は弁償していただくことがあります。
8. 暴力、暴言、セクシャルハラスメント、ストーカー行為があった場合は警察に通報することがあります。
9. 医療費の支払い請求を受けたときは、速やかにお支払いください。
10. 入院時は、
 - 1) 事故防止のため多額の現金や貴重品は、持ち込まないようお願いします。
 - 2) パソコン・DVD・ラジカセ等の電気製品は、持ち込まないようお願いします。
 - 3) 当院での駐車場は、外来患者専用となっておりますので、入院中は駐車場を利用できません。
11. 入院中は、
 - 1) 病院内ではリストバンドを着用してください。
 - 2) 外出・外泊をする場合は、医師・看護師長による外出・外泊許可証をもらってください。

大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411 (代)

大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

1号から63号までの「かけはし」は、医学部附属病院ホームページからご覧いただけます。

